

## 『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』

～ 吉屋 信子 ～

1896年（明治29年）～1973年（昭和48年）

新潟県出身。小説家。代表作「花物語」「鬼火」「徳川の夫人たち」など多数。日本女流文学者賞受賞。少女小説の元祖。

栃木県栃木市に移住し多感な少女時代を過ごしました。新渡戸稲造の演説を聞き感銘を受け、その頃より少女雑誌に投稿をはじめました。少女小説「花物語」でデビューし人気作家となり「鬼火」で日本女流文学者賞受賞。戦後は女性史を題材とした時代物、歴史物を手掛け「徳川の夫人たち」は大奥ブームを巻き起こしました。

吉屋信子没後、晩年を過ごした神奈川県鎌倉市の邸宅に「吉屋信子記念館」が開館されました（1974年（昭和49年））。

この邸宅を含め、吉屋信子が住んだ邸宅（東京牛込砂土原町、東京都千代田区二番町）は近代数寄屋建築の第一人者・吉田五十八が設計しています。

当社史料室には、昭和時代にお客様の御用命により吉屋信子の東京都千代田区の自宅宛に味噌をお送りした記録が残っています。

「新渡戸稲造」について詳しくは「カクキューの八丁味噌を愛した著名人～新渡戸稲造～」をご覧ください。

